

宿根性スターチスにおけるマルチの効果と施肥法

富満龍徳・後藤 哲 (大分県温泉熱花き研究指導センター)

Tatsunori TOMMITSU and Satoshi GOTOH : Effect of Mulching and Method of Fertilizer Application of Perennial Limonium

宿根性スターチスは大分県内に約10haの栽培面積があり主要品目になっているが、近年単位面積当たりの採花本数の減少や生産者間における品質のばらつきがみられ問題となっている。そこで、本試験ではアルミ蒸着フィルムマルチの利用と、施肥量および肥効調節型肥料による局所施肥が収量、品質に及ぼす影響について検討した。

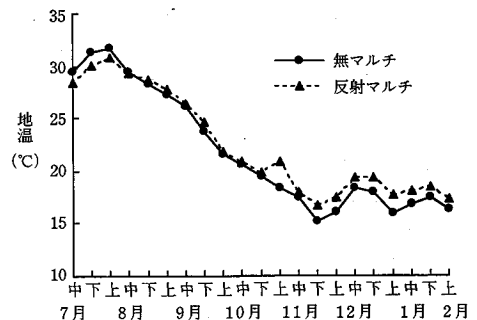
1. 材料および方法

品種は「ブルーファンタジア100」を供試した。施肥量および施肥法について検討するため、基肥に有機入り化成肥料(8-8-8)、追肥に尿素複合液肥(10-4-8)を用い、年間の窒素成分施肥量による次の処理区を設けた。①対照区(慣行施肥、基肥1kg/a+追肥1kg/a)、②基肥増区(基肥2kg/a+追肥1kg/a)、③追肥増区(基肥1kg/a+追肥2kg/a)、④基肥・追肥増区(基肥2kg/a+追肥2kg/a)。さらに、360日タイプの被覆肥料(13-11-13)による局所施肥の効果について窒素成分で2kg/a、3kg/aの2水準で検討した。被覆肥料は、初年目の定植時は植え穴、2年目以降は株元に年1回全量施用した。また、アルミ蒸着フィルムマルチの効果を検討するため、前記の全試験区にマルチ区と無マルチ区を設けた。試験は場内のガラス温室で実施し、1996年7月4日に定植、株間35cm、条間40cmの2条植え、最低夜温は15℃とした。また、現地慣行に準じて7月上旬～8月上旬の期間は発生した花茎を全て除去した。

2. 結果および考察

マルチ区は無マルチ区に比べて、全ての処理区において採花本数が多かった。特に、マルチをし被覆肥料を窒

素成分で3kg/a施用した区が各処理区中最も採花本数が多かった。さらに、マルチ区では施肥量の増加に伴って採花本数も多くなった。しかし、無マルチ区では施肥量が多くなるほどむしろ採花本数が減少する傾向がみられた。切り花重、切り花長はともにマルチ区で被覆肥料を3kg/a施用した区が他の処理区に比べて最も大きな値を示した。なお、切り花の硬さも無マルチ区に比べてマルチ区で硬くなり切り花形質が向上した。このように、切り花の収量や品質の向上に対してマルチの効果がみられたのは、マルチ区が無マルチ区に比べて地温の日較差や年較差が小さく、高温期における地温の上昇の抑制ができたことと、反射光による冬期の補光効果によるものと考えられる。また、マルチ条件下における被覆肥料の全量基肥施用も収量や品質の向上、さらには施肥の省力化を図るうえで有効な技術と考えられた。



第1図 平均地温の推移 (1996年～97年)

第1表 切り花の諸形質と採花本数の推移

試験区名	切花長 (cm)	花梗幅 (cm)	切花重 (g)	莖径 (mm)	硬さ (度)	採花本数 (本/株)					合計
						H9.3 ~H9.5	H9.6 ~H9.8	H9.9 ~H9.11	H9.12 ~H10.2	H10.3 ~H10.5	
対照(慣行)	116	84.1	77.4	4.9	9.4	2.00	0.75	2.50	0.38	2.25	9.88
基肥増	116	83.9	76.7	4.9	8.8	1.38	0.88	2.19	0.88	1.69	8.63
追肥増	114	79.3	68.6	4.8	8.9	1.13	1.25	2.44	0.63	1.56	8.19
基追増	116	81.3	74.8	5.0	8.4	1.25	1.06	2.44	0.56	1.88	7.94
被覆2kg	117	83.7	76.7	5.1	7.9	1.75	1.06	2.38	0.75	1.69	9.13
被覆3kg	114	78.7	68.6	4.9	7.9	1.31	1.44	2.88	0.56	2.13	9.94
平均	115	81.8	73.8	4.9	8.6	1.47	1.07	2.47	0.63	1.86	8.95
対照+マルチ	114	86.1	75.2	5.0	8.1	1.56	1.00	2.88	0.56	1.63	10.00
基肥増+マルチ	116	87.7	82.6	5.2	7.3	1.81	0.88	3.06	0.69	1.88	10.31
追肥増+マルチ	110	82.3	67.3	4.9	6.5	1.88	0.94	2.88	0.75	2.19	10.44
基追増+マルチ	113	87.4	80.1	5.1	7.0	1.88	1.19	2.50	0.63	2.50	10.81
被覆2kg+マルチ	115	88.6	81.9	5.2	7.7	1.94	1.25	2.88	0.56	1.88	10.69
被覆3kg+マルチ	120	89.8	87.5	5.3	8.5	2.25	0.94	2.69	1.13	1.56	11.13
平均	115	87.0	79.1	5.1	7.5	1.89	1.03	2.81	0.72	1.94	10.56

注) 硬さは70cmの位置を持って水平に保った際の下垂度